

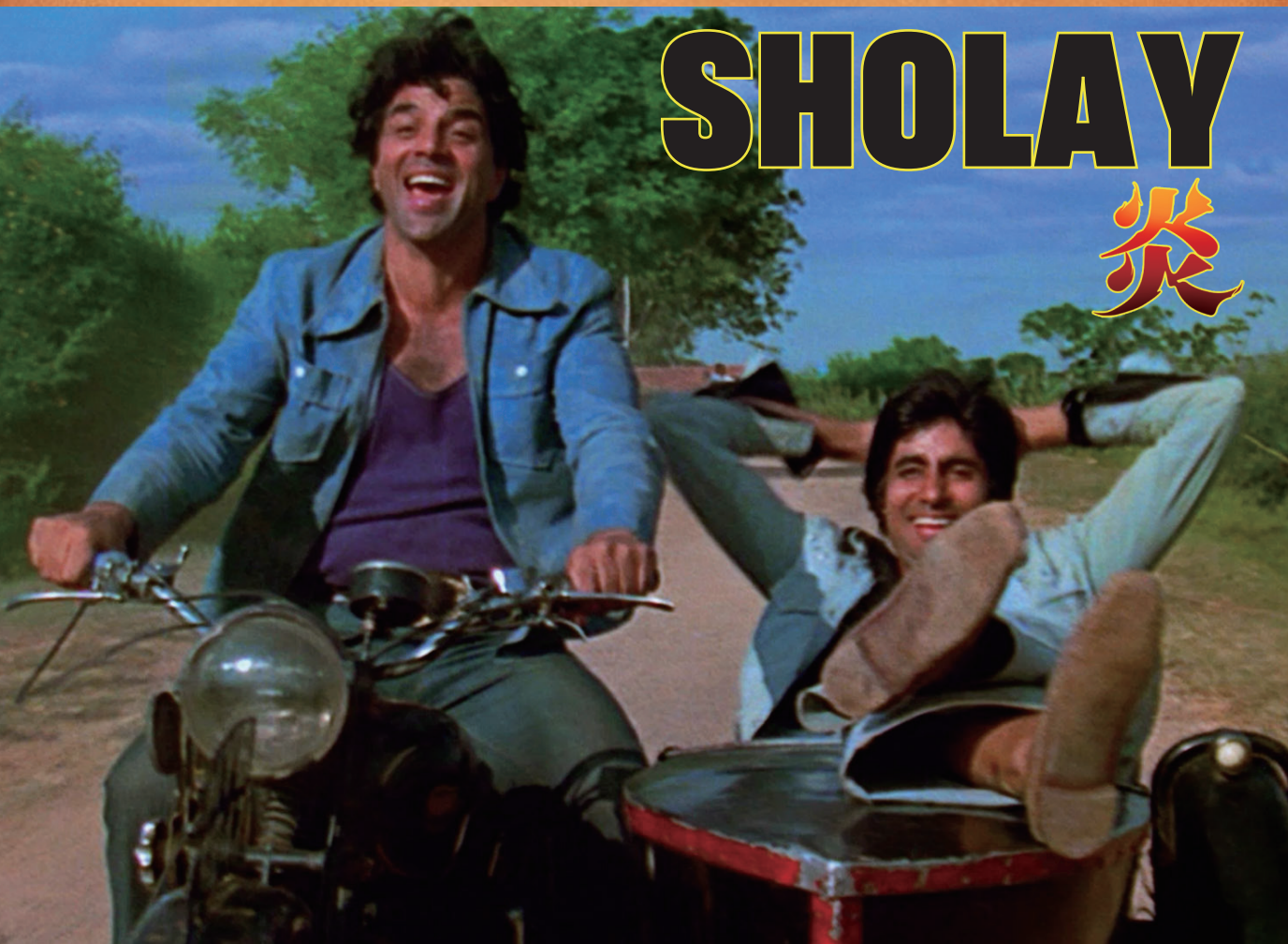


TUFS Cinema
Tokyo University of Foreign Studies

南アジア映画特集

SHOLAY

炎



TUFS Cinema とは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行っています。

南アジア映画特集では、インド映画の金字塔『Sholay(炎)』を上映します。

初上映から50年を迎える今年、大衆に愛され現在に至るまで多くの作品に引用されてきた本作の魅力を掘り下げます。



提供：JAIHO

上映日時 2025年

6月14日【土】

13:00上映開始（開場12:30、終了予定18:00）

場所 **東京外国語大学**
アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール

（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分）

プログラム

映画『炎』本編上映（204分）

途中で一度休憩15分を挟む予定

上映後解説／トーク

松岡 環 アジア映画研究者

司会 萬宮 健策 東京外国語大学教授

共催 東京外国語大学TUFS Cinema
南アジア研究センター

協力 JAIHO
松岡 環

東京外国語大学多言語多文化共生センター

JAIHO

入場無料
事前登録は
こちら



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc250614form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。

定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]

東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441

平日9:00-17:00（12:00-13:00は除く）

Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日

2025年6月14日(土) 13:00上映開始(12:30開場、18:00終了予定)

南アジア映画特集

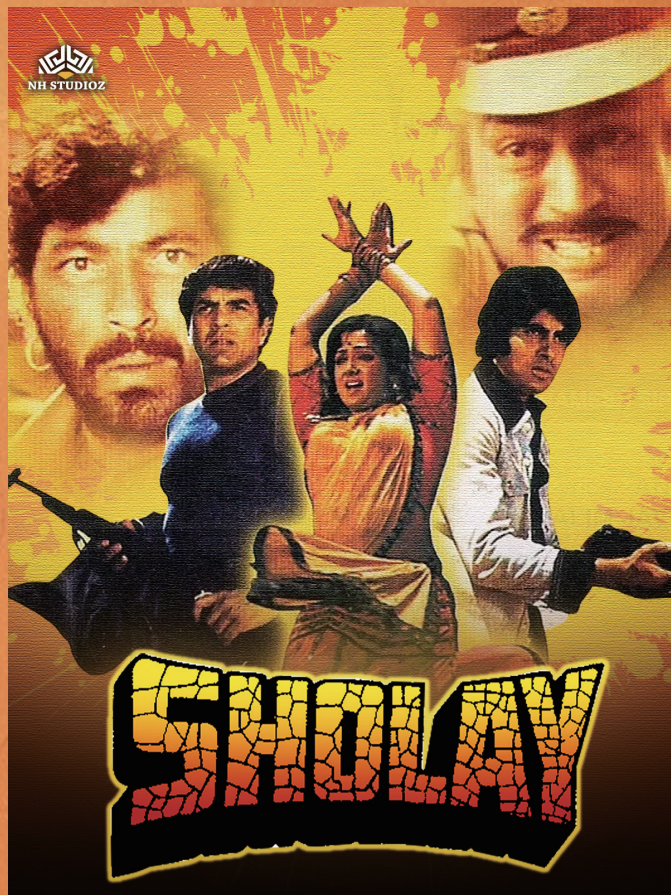


監督 ラメーシュ・シッピー
脚本 サリーム＝ジャーヴェード
撮影 ドワールカー・ディヴェーチャー
編集 M.S.シンデー
作曲 R.D.バルマン
作詞 アーナンド・バクシ
出演 ダルメーンドル アミターブ・バッチャン
サンジーウ・クマール ヘーマー・マリニー
ジャヤー・バードウリー アムジャド・カーン
ヘレン

あらすじ

農村の地主タークルは、かつて勇猛な警官として名を馳せた人物だ。故郷の村で家族が盗賊に殺され、現役時代に逮捕した2人組の泥棒ジャイとヴィールを探し出し、賞金と引き換えに2人にある仕事を依頼する。その依頼とは、村を恐怖で支配してきた盗賊の頭目ガッパル・シンを生け捕りせよというものだ。タークルの依頼を引き受けたジャイとヴィールは村を訪れ、やがて対決の時が訪れる。2人はガッパル・シンをタークルに引き渡すことができるのか――。

1975年／インド／204分／ヒンディー語／原題 Sholay／
日本語字幕：松岡 環



提供：JAIHO

上映後解説／トーク

松岡 環 (アジア映画研究者)



大阪外国語大学(現大阪大学)でヒンディー語を学ぶ。
東京外国語大学大学院を中退後、アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)職員として20年勤務。
在職中の1976年よりインド映画の研究と紹介を開始し、その後対象をアジア映画全般に広げる。インド映画の字幕翻訳にも従事。

『ムトゥ踊るマハラジャ』『きっと、うまくいく』
『パッドマン 5億人の女性を救った男』等を担当。

本作について

『炎』はインドで最も愛され、映画のみならず文学や美術の世界でも引用されてきた作品だ。公開は1975年8月15日。公開当初は映画評論家から酷評され、入りもよくなかったが、やがて観衆が本作の面白さとセリフの巧みに気づいてリピートし始め、劇場は常に満員、ムンバイのミネルヴァ劇場では5年間のロングランを記録した。

ハリウッド映画『荒野の七人』(元は黒澤明監督作『七人の侍』)からアイデアを得たとラメーシュ・シッピー監督は語っており、これにインドのダコイト(盗賊)映画の要素を取り込み、当時映画界の主流だったロマンス路線とは一線を画する「ダコイト・ウェスタン」という新領域を開拓。脚本はデュオ脚本家サリーム＝ジャーヴェードで、彼らの前作『Deewar(壁)』(1975)でも主演したアミターブ・バッチャンは、以後大スターとしてインド映画界を牽引する存在となっていく。

公開から50年の節目を迎える本年、本作が与えた影響とその魅力を紹介する。

会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)
TEL 042-330-5441 平日9:00~17:00(12:00~13:00は除く)
Email tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

入場無料／事前登録制

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc250614form/>



交通アクセス



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多摩」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多摩駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車